



豊中市環境部

「ゼロカーボンシティ推進課」の 説明会報告

当会が懇談を申し入れた豊中市環境部「ゼロカーボンシティ推進課」（以下推進課）の説明会が、6月22日13時半より約75分間オンラインで行われた。推進課からは湯浅安由里担当主幹と石原雅美係長、当会からは理事5人が出席した。

初めに推進課より2022年3月に改訂された「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画・とよなかゼロカーボンプラン」（以下地域計画）の説明があり、その後質疑応答があった。



2018年に制定された地域計画は、政府の2021年「地球温暖化対策計画」閣議決定に合わせて改定され、地域計画の最終2027年度の市民一人当たりの温室効果ガス排出量削減の目標が1990年比38.3%減、2050年度実質ゼロに引き上げられた。

市民に対する具体的施策の一つとして、広報5月号の環境保全の項（21ページ）に挙げられている「スマートハウス等支援補助金」として、①太陽光発電設備②エネファーム③蓄電池④断熱リフォーム⑤ZEH（net Zero Energy House）にそれぞれの予算枠と1件当たりの上限を設けて補助する制度があり、5月9日より募集していることが報告された。当会からは「知らなかつ

た」「広報が不十分」という声が強く出された。昨年度の実績はすべての分野でほぼ予算枠が消化されているようで、今後広報の改善と予算枠の拡充が求められる。

このほか、この春「環境政策課」から「ゼロカーボンシティ推進課」に変更になった理由および新しい取り組みの有無、7,8年前に公立学校の屋根に太陽光パネルを設置する事業があったがその後どうなったか、現在市の公共施設に太陽光パネルを設置する計画があるか、などの質問が出されたが、現在のところあまり積極的な計画はなさそうだった。

削減目標に向けて現在の立ち位置はどうなっているとの質問には、2021年度では目標の削減曲線を上回る削減ができていたとのことだった。さらに、EV急速充電ステーション・水素ステーションの設置、市役所の壁に太陽光パネルを設置するなど見える化に努力してほしい、東京都並みに新築建物に太陽光パネルの設置を義務付ける条例を制定してほしい、環境教育・親子間伐体験事業などに協力したい、などの要望が出された。

第10回通常総会の報告

第10回通常総会は2023年5月27日（土）午後1時から曾根の豊中環境交流センターで行いました。

出席者10人、書面17（委任状12人、すべて賛成5人）で会員38人の過半数をもって成立、すべての議案について満場一致で可決しました。

また、当会発足時から専務理事を務められました堀田文一さんは体調を考え、当会名誉顧問として今後も会に関わっていただくことにしました。

「みんなの おうちに 太陽光」

太陽光パネルの共同購入を体験してみました！

井上 道代(吹田市)

以前から実現したいと思いつつ、予算の事もあり、延び延びになっていたわが家への太陽光発電導入を、大阪府の太陽光パネル共同購入を通じてやっと実現しました！

昨(2022)年5月に見積もりをメールで申し込み、6月の都合の良い日に現地調査。購入プランは1太陽光パネル、2太陽光パネル+蓄電池、3蓄電池、の3つでしたが、蓄電池はまだ高いので、今回は、太陽光パネルのみにしました。



我が家は三階建てで敷地も狭く、屋根のみでは少ししか載せられないので、屋上のスペースに「特殊架台(農地のシェアソーラーの架台みたいなもの)」を設置して、合計9台の太陽電池モジュール(2.7kw)を載せることにしました。

7月に見積もりをもらい、書類をそろえ(建物の全部事項証明書をとるのが面倒でしたがオンラインで取り寄せられました。)、再度現地調査を行い、9月に書面で契約となりました。

「陸屋根用特殊架台」が25万円必要となり、それを含めて

1,023,450円(税込1,125,795円)

パネルのみなら

773,450円(税込 850,795円)

となり、共同購入によって、想定市場価格から24.7%の割引になったようです。

(「みんなのおうちに太陽光」HPより)

通常は、経産省や電力会社への申請などで、契約から2~3か月で工事に入れるとの事でしたが、折からの資材不足により「陸屋根特殊架台」の建材の納入が遅れに遅れ、作業して下さる工事の方の都合や我が家の都合もあり、今年(2023年)4月に、やっと、設置工事が行えました。4日間の工事でしたが、在宅が必要なのは2日間だけでした。

設置したその日から発電をはじめ、4日後に関西電力送配電(株)会社が電気メーターの取り換えを完了して、余剰電力の売電(17円/kWh)も開始しました。

我が家はオール電化なので、電力量料金は

デイトタイム(平日の10~17時)

夏季...28円96銭/kWh

その他季...26円33銭/kWh

リビングタイム(7~10時、17~22時)

...22円89銭/kWh

ナイトタイム(22時~翌日7時)

...15円20銭/kWh

となり、おひさまが出ている限り、高いデイトタイム・リビングタイムの電気代を払わなくて済むようになりました！



しかもカラーモニターで、その瞬間ごとの発電量のみでなく、消費電力も見える化され一目瞭然！しぜんと、無駄な電気を消したくなります！

【カラーモニター画面】



カレンダーでその月の発電量・売電量(額)・買電量(額)等も確認できます。



そして「環境貢献度」という画面もあり、今まで発電した太陽光発電で、

- ・CO2の削減量は何kgなのか
- ・石油にすると何L分なのか
- ・成木にすると何本分なのか

も一目でわかるんですよ！

【環境貢献度】



そして2023年5月の総発電量は、
総発電量：379kWh
売電額： 5,676円 (336kWh)

自家消費と節約分で昨年5月の電気料金(8,921円…327kWh)より、136kWh(41.5%)減らすことができ、3,604円安くすることができました。売電額を足すと、**9,280円**のお得でした！

まさに「稼いでくれる家電！」ですね。

ちなみに、「みんなのおうちに太陽光」HPによると、太陽光発電システムには、

- 1, システム保証15年
 - 2, パネル出力保障20年以上
 - 3, 自然災害補償10年
 - 4, 施工保障10年
- がついています。

大阪府の「太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業」HPによりますと、令和4年度(2022年度)の実績は、太陽光パネルが24.7%オフとなり、蓄電池が33%オフだったそうです。

太陽光発電を導入してみて、いくつか気付いたこと等があります。

*雨の日も、まったく発電しないわけではなく、少し発電しているのは驚き！空の明るさにもよりますが、若干発電していて、冷蔵庫・リビングの照明・TV又はPCの電力ぐらいは賄えること。

*トースターは、とても電気を使うこと等、どの電化製品をどのように使うと電気を消費するのか見える化され、節電をより意識して行動するようになったこと。

気候危機が深まる中、電力の脱炭素に貢献でき、しかも電気代もお得になる太陽光発電の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました！今年度も、大阪府の「みんなのおうちに太陽光」キャンペーンが開始されていますね。(8/31まで)

少し気になる方も、一度見積もりしてみてください！

「みんなのおうちに太陽光」キャンペーンHPでは、太陽光パネルや蓄電池の投資回収年数と経済性という記事もありました。太陽光パネルの投資回収年数は9~12年程度とありました。蓄電池はまだ高いので、今は投資回収をするという観点ではなく、災害時の非常電源として「安心を買う」という観点でご検討を、とありました。詳しくはHPへ

活動報告

・6月21日(水) 14:00~16:00

(於) 人権平和センター豊中

主催 一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会

講座名 「集まって話そう 地球の環境、私たちの未来」 講師 山崎博文理事

近年、気候変動を含む環境問題が深刻化しています。人類が共存できる環境を保全することは、私たちの基本的人権にかかわる問題です。として呼びかけてくださいました。参加者20人

・7月4日(火) ~7月18日(火)の2週間、市民公益活動支援センター(庄内コラボセンター内)ギャラリーで、会の活動報告と「じぶん発電」セットの展示を行い、地域にアピールをしました。

・7月22日(土) 10:30~11:45

(於) 市民公益活動支援センター

主催 NPO法人 豊中市民エネルギーの会
講座名 「夏休み親子自由学習会 我が家の電気を調べてみよう!ソーラーLEDキーホルダー工作もするよ!」

講師、山崎博文理事、工作担当は衛藤 スタッフ 浦野理事、小野理事、近藤理事

環境教育は「大人向けにもできないか」との意見が会員からあったので夏休み親子学習会として企画しました。最近では電気代も含めて物価が値上がりしてきて、電気も使えば使うほど料金が高くなるということ意識し、節電に気を付けるような働きかけをしました。この時の反省で、プレゼンの漢字によみがなをつける、電気料金の計算は項目を増やした方がいい、というような意見が出されました。参加者は4家族と大人2人の10人。

・8月5日(土) 10:30~11:45

(於) 人権平和センター豊中

主催 一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会

講座名 「夏休み子ども講座 我が家の電気を調べてみよう! ソーラーLEDキーホルダー工作もするよ!」

講師 山崎博文理事 工作担当は衛藤、寺本美鶴監事がお手伝い。

子どもだけ10人の参加になるので、センターから3人のスタッフがサポートしてくれました。

電気料金の計算は低学年の子どもには大変でしたが、その後LEDキーホルダーの模様づくりの工作は楽しんでいました、その子どもたちの作品がこの写真です。



「温暖化止めようワタシのミライ」に参加しましょう!

9月18日に、気候危機対策や脱原発を目指し、世代を超えて連帯するイベントが東京で企画されたのを受けて、関西でも同じ日に、CASA(地球環境市民会議)等が声掛けをし、「温暖化止めようワタシのミライ~原発いらない 石炭やめよう 再エネ100%へ~」を大阪市中央公会堂前で集会とスタンディングアピールをすることになりました。当会も賛同団体になっています。

未来を背負う世代と連帯し、未来を守るために、みんなで声をあげましょう!



特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会
連絡先 560-0034 豊中市蛸池南町3-2-11-105
電話 06-6843-3568 (FAXも同じ)
メール masumi-e@hotmail.co.jp
郵便振替 口座記号番号 00920-2-332550
加入者名 豊中市民エネルギーの会